

『都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育』

東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学



ニュースレター 平成28年度7号

がんプロコース修了生への期待



駒澤大学
学長

廣瀬 良弘

文部科学省の補助金事業である「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業において、平成24年度より、東京女子医科大学、杏林大学、帝京大学、駒澤大学の4大学連携による「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」プログラムが実施され、今年度が最終年度となりました。多くが文系学部である本学において、医療健康科学部及び大学院医療健康科学研究科は唯一の理系となりますが、その中で大学院医療健康科学研究科が、がんプロ事業に参加し協力できることは大変意義のあることであり、またその責任の大きさも感じているところであります。

本学の大学院医療健康科学研究科の修士課程と博士後期課程には共に、診療画像学コースと医用計測学コースが開設されておりますが、修士課程には、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランに基づく「がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース」、「医学物理士養成コース」が加わり現在4コースにより教育を行っております。高度に発展する医療に対応するためには、最新の知識と技術のみならず、医療環境を取り巻く社会的状況に対する知識と高い人間性と倫理観を備える必要があります。仏教の慈悲の心や禅の行学一如の精神、すなわち学やスキルあるいはモラルに支えられた確かな行・実践が求められるのです。

このがんプロコースで学んだ学生が、今後医療現場において高度な技術を持った専門家として活躍できることを願っております。

がんプロとわたし

私のがんプロと関わりを持ったそもそものきっかけからお話いたします。平成22年4月に帝京大学医学部外科学講座に赴任し、ちょうど一年経った平成23年4月、なぜか帝京大学医学部附属病院の医療連携・相談部の部長を拝命いたしました。その前後から以前勤務していた国立がんセンター中央病院（現国立がん研究センター中央病院）でお見かけしていた江口研二先生（帝京大学がんプロコーディネーター）にお誘いいただき、様々な催しに参加させていただき、そのひとつがこの「がんプロ」でした。江口先生は、がんプロが医療連携の活性化に役立つこと、そして外科医不足の解消にもつながる可能性があることを話されました。Noと言えない私はいつの間にかがんプロの一員として現在に至っています。がんプロに関与して医療連携の推進に役立ったかどうかは定かではありませんが、現時点で外科医不足の解消にはつながっていないようです。しかしがんプロでも同様に様々な機会を賜り、シミュレーション実習のためのシミュレーターを整備いただいたり、それを用いて帝京サマースクールで小学生に腹腔鏡のシミュレーションを体験してもらったりしました。その帝京サマースクールも今年で4年目。参加してくれた小学生の一人でも医学、それも外科に興味を持ってくれたら、と思いつつ、自分たちも楽しく続けていきたいと思えます。



帝京大学
医学部
外科学講座 教授

佐野 圭二



2016年4月23日(土)

乳がん市民公開講座「情報の波に乗って、納得の乳がんの治療を」 帝京大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

プログラムコーディネーター 江口研二 (医学部難治疾患支援学講座)

参加費 無料

乳がん市民公開講座
情報の波に乗って、
納得の乳がん治療を!

～氾濫するがん情報の中、最善の治療にたどりつくために必要なこと～

2016年4月23日(土)
13:00-16:00(開場12:30)

帝京大学 板橋キャンパス内 臨床大講堂
〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1

総合司会 秋沢 淳子
TBS アナウンサー

お申込み

① ホームページからの申込み
下記申込みフォームからお申込みください。
http://www.wjog.jp/seminar/entry_form/2016tokyo/entry_form.php

② メールでの申込み
必要事項をご記入の上、wjog@wjog.jp までご連絡ください。
件名に「**乳がん市民公開講座申し込み**」と書いてお申し込みください。
【メールでの申し込み必要事項】※は必須事項
※氏名/年齢/※参加人数/郵便番号/住所/電話番号/※メールアドレス/車いすでの参加(あり/なし)/質問など

【共 催】 認定 NPO 法人西日本がん研究機構 帝京がんセンター・帝京大学医学部附属病院 医療連携室
帝京大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン NPO 法人がんセンターネットジャパン
【協 賛】 がん情報ポータルサイト「がんと、ひとをつなぐ「オンコロ」」

参加費 無料

乳がん市民公開講座
情報の波に乗って、納得の乳がん治療を!

～氾濫するがん情報の中、最善の治療にたどりつくために必要なこと～ **2016年4月23日(土)**

プログラム

総合司会：秋沢 淳子 (TBS アナウンサー)

13:00~13:10	開会挨拶	中川 和彦 (認定NPO法人西日本がん研究機構 理事長・近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 教授)
13:10~13:35	講演①	乳がん治療最前線① ～乳がん手術の目指すもの～ 神野 浩光 (帝京大学医学部 外科腫瘍学 教授)
13:35~14:00	講演②	乳がん治療最前線② ～サブタイプ別最新薬物療法と臨床試験～ 鶴谷 純司 (近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 准教授)
14:00~14:30	講演③	がん向き合って ～患者として、報道記者として～ 鈴木 美穂 (テレビ局報道記者・NPO法人maggie's Tokyo 共同代表・乳がん経験者)
14:30~14:45	休憩	
14:45~15:10	講演④	がん情報の波に乗る ～刺激的な情報や不毛な論争に惑わされず、自分にプラスとなる選択を～ 高野 利実 (鹿の門病院 臨床腫瘍科 部長)
15:10~15:15	認定NPO法人 西日本がん研究機構の紹介	澤 祥幸 (岐阜市民病院 がんセンター 診療部長)
15:15~15:55	Q&A/ディスカッション	【司会】秋沢 淳子 【パネリスト】神野 浩光、鶴谷 純司、高野 利実
15:55~16:00	閉会挨拶	江口 研二 (帝京大学医学部 難治疾患支援学講座 特任教授)

アクセス

帝京大学 板橋キャンパス内 臨床大講堂
〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

- 電車：
 - JR 埼京線 十条駅 (徒歩 10分)
 - 都営地下鉄三田線 板橋本町駅 (徒歩 13分)
- バス：
 - JR 埼京線板橋駅より 板橋駅西口 ⇨ 帝京大学病院前 下車
 - 都営地下鉄三田線新板橋駅より 板橋駅西口 ⇨ 帝京大学病院前 下車
 - JR 京浜東北線または地下鉄東武東上線王子駅より 王子駅 ⇨ 帝京大学病院前 下車

お問い合わせ：認定 NPO 法人西日本がん研究機構 事務局
〒558-0016 大阪市東淀川区元町 1-5-7 ナンパラザビル 3 階 304
TEL: 06-6633-7400 FAX: 06-6633-7405

認定NPO法人西日本がん研究機構(WJOG)とNPO法人がんセンターネットジャパンが定期的に行っている市民公開講座は、今回乳がんをテーマに東京で開催されました。今回は帝京大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・帝京がんセンター/医学部附属病院医療連携室も企画に参加して、帝京大学板橋キャンパスの医学部臨床大講堂で開催されました。

夏を思わせる陽ざしの週末に300名に近い熱心な聴衆が参加されました。WJOGの中川和彦理事長(近畿大学医学部腫瘍内科)の開会挨拶のあと、神野浩光先生の最新乳がん外科治療、鶴谷純司先生の乳癌薬物療法の解説、鈴木美穂(報道記者)さんご自身の乳がんサバイバーとしての体験談そして今後のNPO法人Maggie's Tokyo(患者・家族の支援)活動の展開のお話、そしてWJOG乳がん研究グループ代表高野利実先生による「がん情報の波に乗る」と題した適切ながん情報に出会うコツに関するお話がありました。

鈴木さんによる熱烈な啓発支援への取り組みのお話などで会場は大いに盛り上がりました。秋沢淳子さんの名司会にリードされ、後半のパネルディスカッションでは、乳がん治療中の方からの御質問も多く、かなり専門的な、例えば、がんのサブタイプに基づく薬剤選択や最新の分子標的薬の効用、腫瘍マーカー測定の意味など多岐にわたる質疑応答をすることができました。

この市民公開講座の詳細は現在でもNPO法人がんセンターネットジャパンの「がん情報ビデオライブラリー」の最新版で動画として見ることができます。

最近では情報媒体が急速に変化して、個人の興味や関心に応じた情報閲覧や意見交換が普及してきています。一時代前には、教育講演や市民公開講座などの記録はDVDに作成して配布するというような作業がありました。今は昔の物語となり、遙かに情報の伝搬はそれらを超越して迅速に且つ広く行き渡ります。がんの啓発のあり方も個人のニードを把握してそれらに応じた効率の良い情報のあり方をどんどん取り入れて行くべきであろうと痛感しました。行政や関連財団などからの補助金による啓発活動においても、より迅速により安価に効率の良い方法が利用できるのも、もっと工夫をこらす必要があると思いました。



平成 28 年度第 1 回遠隔画像診断セミナー 2016 の報告

駒澤大学医療健康科学研究科 吉川宏起

本年5月22日に江戸川区のタワーホール船堀で開催された第70回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会（藤井雅代会長）にて、恒例の遠隔画像診断セミナーが行われました。出席者は診療放射線技師を中心に高等学校養護教員などを含めた60名でした。

セミナーのテーマは「がん画像読影支援：乳腺画像検査の進歩と検査の棲み分け」で、前半は各画像診断製造メーカーの責任者による目覚ましい技術進歩を遂げている乳腺三次元画像検査法の詳しい解説と臨床応用の紹介がなされました。従来は二次元的診断のマンモグラフィや超音波検査が三次元的な画像技術を駆使することで小さな病巣の存在や正確な質的診断が可能になることが示されました。MRIでは撮像時間の飛躍的な短縮による高時間分解能の三次元的ダイナミック検査や手術範囲の決定に有用なMRIガイド下生検がさらに高精度に行えること、核医学分野では世界で80台ほど稼働する乳腺専用PETが1.5mmの高分解能画像による小病変の検出を可能にすることが示されました。

セミナー後半は聖マリアンナ大学放射線科の印牧義英先生よりBIRADS（乳腺画像報告データシステム）に基づく乳腺画像診断と各検査法の棲み分けについて具体的な症例提示がなされました。

国際的な標準語であるBIRADSによる医療者間での画像情報の正確な伝達を行うことで乳がんの診断精度を高め、エビデンスに基づく医療を浸透させる重要性が再確認されました。

JSRT 第70回東京支部春期学術大会
 駒澤大学文部科学省がんプロフェッショナル養成プランセミナー
 ～遠隔画像診断セミナー 2016～

がんの画像読影支援
 ～乳腺画像検査の進歩と検査の棲み分け～



日時 平成28年5月22日(日) 14:30～17:40
場所 タワーホール船堀5階 <東京都江戸川区船堀>
参加費 無料

■司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 奥山康男、吉川宏起

◇ がんプロとは？ 駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授	奥山 康男	14:30～14:40
□ 乳腺3D-mammography 富士フィルム株式会社 R&D統括本部 メディカルシステム開発センター 統括マネージャー	千代 知成	14:40～15:10
□ 乳腺3D-US 東芝メディカルシステムズ株式会社 営業本部 超音波営業部アプリケーション担当 グループ長	堀江 康徳	15:10～15:40
□ 乳腺3D-MRI シーメンスヘルスケア株式会社ダイアグノスティック イメージング事業本部DIリサーチ&コラボレーション部	川口 浩和	15:40～16:10
□ 乳腺PEM セティー株式会社 医療・量子部 医療機器課 課長代理	片山 章央	16:10～16:40
☆ 乳腺画像診断と検査の棲み分け 聖マリアンナ医科大学病院放射線科講師 医長	印牧 義英	16:40～17:40

< * 敬称略 >

◇主 催：駒澤大学
 ◇協 力：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部
 ◇聴講料：本講演のみ無料にて入場可（事前予約の必要はございません）
 ◇聴講要件：医療職種及び関係者（学生・社会人などは問いません）

TOP  Tokyo Oncology Professional 
 連携大学：東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

第3回放射線腫瘍学合同カンファレンスを開催して

東京女子医科大学放射線腫瘍科 河野 佐和

2016年5月14日に東京女子医科大学病院にて3大学合同放射線腫瘍学カンファレンスを開催しました。過去2回のカンファレンスと同様に、各施設から症例を持ち寄り、互いの意見を交換しましたが、今回も希少な癌や特異な体形、既往歴・合併症が複雑に絡むような状況にある症例が提示され、教科書や論文の紙面の情報からだけでは解決できないような日常診療の場面での問題を、お互いに顔を合わせながら検討する意義を感じました。3回目となる今回は、新しい症例だけでなく、初回に検討した症例のその後の経過の報告も行われ、回数を重ねることによって共有できる情報も増えてきました。

新年度初回の開催であり、新たなメンバーとして加わった異動されてきた方々からは、これまでの治療経験から、限られた施設のみで行われている治療法を紹介していただくなど、検討される治療法の幅も広がったほか、多職種の参加を得られたことで、医療チームとしての観点で症例の検討を行えました。

カンファレンス終了後は東京女子医科大学病院の紹介を行い、放射線治療室へご案内しました。お話ししながら和やかな時間を過ごし、それぞれのつながりが強くなったことを感じています。



登録・問い合わせ先

 東京女子医科大学 がんプロ事務局 TEL 03-3357-4889 MAIL top-g4.bm@twmu.ac.jp	 帝京大学 事務部 教務課 がんプロ担当 TEL 03-3964-1211(代表)(内線42122) MAIL ganpro@med.teikyo-u.ac.jp
 杏林大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局 TEL 0422-47-5512(内線3211) MAIL ganpro@ks.kyorin-u.ac.jp	 駒澤大学 教務部研究推進課研究推進係 TEL 03-3418-9125 MAIL ken-suishin@komazawa-u.ac.jp

 本事業の最新情報はホームページに掲載、「TOP-G4」で検索